

市民の願いが 生きる 議会の活性化を

～みなさんのご意見をお寄せください～



大津市議会で 議会活性化

検討委員会 が発足

他の自治体で政務調査費の不正使用が明らかに becoming なか、市政運営のチェックはされているのかなど、議会のあり方が問われています。

大津市議会では、共産党市議団が毎年5月の臨時市議会の際に、各会派に「民主的運営」の提案をおこなってきました。

この間、議会広報で議員名が掲載されたり、インターネット中継がはじまるなど議会の改革が進んできました。今年度は、さらに議会改革検討委員会を設置して、市民本位の議会運営ができるように様々な問題について検討を進め、できることから改善を図ろうと取り組みが始まっています。

7月21日に第1回目の委員会が開かれ、今後の協議のテーマについて、各派の考え方を申し合いました。共産党市議団からは塚本市議が、会派人数に応じた議会役員の選出、傍聴席の改善や対面式の質問、予算委員会での設置などについて提案をおこないました。今後、さらに検討課題を出し合っ、一致できる点から具体化するようになっていきます。議会に対する市民のみなさんのご意見をぜひお寄せください。

競輪事業終息に向けての検討が議論に

—競輪事業調査特別委員会開かれる—



7月17日、今年度2回目の委員会が開催されました。大津市の競輪事業は、約13億円の累積赤字です。この赤字経営改善のため今年度から2011年度を見据えての収支改善計画書が策定され、これに基づいて一部駐車場の借り上げ中止など経費削減、経営改善策が進められているところですが、

しかし6月18日から21日まで行われた「第60回高松

宮記念杯競輪」では予想を下回る収入しかなく、出鼻をくじかれた状況です。

今後、改善の見通しが見込まれない中で、目片市長も3～5年のスパンで廃止に向けて検討すると述べています。

2年目になる特別委員会では、経営安定について議論するだけでなく終息に向けての課題の検討もすべきだと意見が出されましたが、当局は、終息に向けての検討案を出す、それが一人歩きする懸念があるとして難色を示しました。

しかし、今後の経営改善が見込めない状態で、市民の税金を使って公営ギャンブルを続けても良いのか、終息にどれだけ経費が必要になるのかという点とは、議会としても判断材料として検討すべきであり、特別委員会としてこの問題も含めた協議をおこなうべきです。

目片市長は、6月25日に平和市長会議への加盟申請を行い、7月1日送付されてきた加盟書により、平和市長会議の一員となりました。

平和市長会議の目的は、「世界の都市が緊密な連携を築くことによって、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起し、核兵器廃絶を実現させるとともに、人類の共存を脅かす飢餓、貧困、難民、人権などの諸問題の解決、さらには環境保護のために努力することによって世界恒久平和の実現に寄与すること」としています。

1982(昭和57)年6月24日、ニューヨークの国連本部で開催された第2回国連軍縮特別総会において、荒木武・広島市長(当時)が、世界の都市が国境を超えて連帯し、ともに核兵器廃絶への道を切り開こうと「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」を提唱し、広島市・

長崎両市長から世界各国の市長宛てにこの計画への賛同を求めました。

平和市長会議は、この「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」に賛同する世界各国の都市で構成された団体で、国連にNGO登録されています。

共産党市議団も、今年6月19日に川内たかし党県書記長とともに、市長に核廃絶へ具体的な行動を申し入れてきました。

大津市長の加盟により、2009年7月1日現在、国内では302市、世界的には134カ国・地域2,963都市が参加都市となりました。



大津市長が平和市長会議に加盟!